

三方五湖学習

みんなの三方五湖調査 ふゆのバードウォッチング

令和4年1月15日に、“ドキドキバードウォッチング in 久々子湖”が開催され（主催：福井県海浜自然センター、連携：美浜環境パートナーシップ会議、美浜町生涯学習まちづくり委員会）、16名の参加者が久々子湖畔において、様々な種類のカモ類を観察しました。

令和4年2月6日に、“三方湖オジロワシとコハクチョウ探鳥会”が開催され（主催：福井県海浜自然センター）、6名の参加者が三方湖畔とその周辺五において、オジロワシとコハクチョウを観察を観察しました。

講師はいずれも、講師：日本野鳥の会福井県嶺南ブロックの皆さまです。

この冬も、多様な鳥類が三方五湖に飛来・生息していることを確認できました。



三方五湖 ニュースレター



No. 27

令和4年3月25日発行



昔の水辺の風景画が絵本に

自然再生関連会議等開催情報

- ◆ 令和3年度第2回全体会
 - ・ 令和4年3月19日…全体会、贈呈式
- ◆ 自然護岸再生部会
 - ・ 令和4年3月7日…部会会議
- ◆ 外来生物等対策部会
 - ・ 令和4年3月13日…部会会議
- ◆ 環境に優しい農法部会
 - ・ 令和4年3月2日…部会会議
- ◆ シジミのなぎさ再生部会
 - ・ 令和4年3月8日…部会会議

最新情報は
↓こちらから



三方五湖の自然とめぐみTOPIX

【生物多様性のための30by30アライアンス】への参加登録完了

環境省が、生物多様性に関する新たな国家目標として掲げている「生物多様性のための30by30（サーティー・バイ・サーティー）アライアンス」に、三方五湖自然再生協議会も参加することで登録完了しました。

30by30とは、2030年までに世界の陸域・海域の少なくとも30%を保全・保護することを目指す目標を指します。

この30by30に参加することにより、三方五湖自然再生協議会も国際的な潮流に貢献できるよう取組を進めてまいります。

問合せ先

福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305

美浜町住民環境課、産業振興課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地
TEL 0770-32-1111（代表）

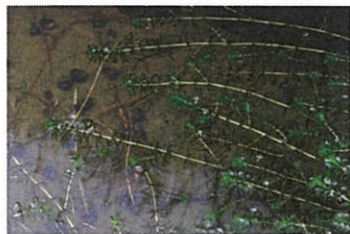
若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126

若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

三方五湖のなかまたち

クロモ(トチカガミ科)

・ 全国の湖沼、ため池などに生育する多年生の沈水植物。8～10月に小さな白い花を咲かせます。



・ 外来種のおオカナダモ（重点対策外来種）と似るが、県域絶滅危惧Ⅱ類にランクされています。

このニュースレターは「令和3年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

目次

三方五湖自然再生協議会・令和3年度第2回全体会	1
ちょっとむかしのくらし展	2
三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、三方五湖の自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち	3

三方五湖自然再生協議会 令和3年度第2回全体会

令和4年3月19日に、福井県立三方青年の家で三方五湖自然再生協議会・令和3年度第2回全体会が開催されました。美浜町戸嶋町長、若狭町渡辺町長ご臨席のもと、オンラインを含め47名が出席しました。

今回の全体会では、第2期三方五湖自然再生事業実施計画(案)が承認された他、「生物多様性のための30by30アライアンス」への参加、三方五湖の持続可能な地域づくりについての話題提供などがありました。

【全体会次第】

1. 開会 あいさつ 会長 鷺谷いづみ (東京大学名誉教授)
2. 来賓 あいさつ 美浜町長 戸嶋秀樹 若狭町長 渡辺英朗
3. 内容
 - (1) 贈呈式 水辺の絵画絵本の贈呈
 - (2) 活動報告 三方五湖子どもラムサールクラブ
 - (3) 三方五湖自然再生事業実施計画(第2期)(案)の承認について
 - (4) 令和3年度活動報告および令和4年度活動計画
 - ・自然護岸再生部会
 - ・湖と田んぼのつながり再生部会/福井県立大学研究報告
 - ・外来生物等対策部会(外来種対策、ヒシ対策)
 - ・環境に優しい農法部会
 - ・環境教育部会
 - ・シジミのなぎさ部会
 - ・三方五湖の持続可能な地域づくり連携
4. その他 「生物多様性のための30by30アライアンス」について
5. 閉会 あいさつ 副会長 吉田丈人 (総合地球環境学研究所・東京大学准教授) 副会長 青海忠久 (福井県立大学名誉教授)

*鷺谷会長、吉田副会長は、リモートでの出席



子どもたちの描いた“昔の水辺の風景画”が絵本に!

当協議会環境教育部会で取り組む「昔の水辺の風景画」の募集で地元の子どもたちが描いた絵が、一冊の絵本になりました。総合地球環境学研究所准教授で、当協議会副会長の吉田丈人先生の研究の一環として作成いただきました。昔の水辺の風景画は、2007年にハスプロジェクト推進協議会により開始され、2013年から当協議会の活動として取り組んできました。集まった絵画は約1,700点。この絵画は、年配の方がかつての風景を今の子どもたちが聞いて描く、“聞き描き”による絵画です。つまり、集まった絵画の2倍、3倍の方々が、地域の水辺の風景について思いを語り合ったことになります。その“思い”のストックを、絵本作家さんが一つのストーリーにおまとめくださり、絵本として生まれ変わりました。

絵本は、3月19日開催の全体会にて吉田先生から大下恭弘部会長に贈呈され(左・写真)、今後、地元小学校、公民館、図書館、関係施設等に配布される予定です。

【映像絵本】

むかしのみずべは

<https://youtu.be/8Ve3Ikzkpgs>



絵本“むかしのみずべは”を映像としてお楽しみいただけます。



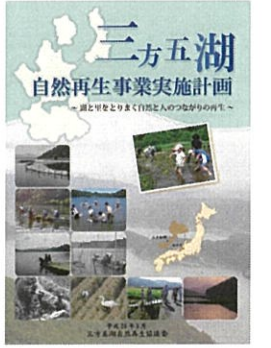
第2期三方五湖自然再生事業実施計画(案)

全体会にて承認された“第2期三方五湖自然再生事業実施計画(案)”は、自然再生専門家会議において承認されれば確定することになります。

第2期三方五湖自然再生事業実施計画(案)の詳細は、福井県ホームページにてご覧いただけます。



福井県ホームページ 令和3年度第2回全体会資料(資料1-1)



第2期三方五湖自然再生事業実施計画書(案) 目次

1. はじめに
 2. 実施者の名称及び実施者の属する協議会
 - 2.1 実施者の名称
 - 2.2 実施者の属する協議会
 3. 計画の期間
 4. 対象区域
 5. 第1期三方五湖自然再生事業実施計画に基づく事業の成果と課題(全体構想で掲げた目標の評価状況評価)
 6. 第2期三方五湖自然再生事業実施計画の意義、実施体制、進め方、事業資金の調達
 - 6.1 意義
 - 6.2 実施体制
 - 6.3 進め方(モニタリングと評価に基づく順応的アプローチの適用)
 - 6.4 資金の調達
 7. 第2期における自然再生の実施計画
 - 7.1 湖岸等の自然再生事業
 - 7.2 湖と田んぼのつながり再生事業
 - 7.3 侵略的外来生物への対策事業
 - 7.4 三方湖におけるヒシへの対策事業
 - 7.5 環境に優しい農法事業
 - 7.6 三方五湖を活用した環境教育事業
 - 7.7 シジミのなぎさ再生事業
 - 7.8 三方五湖の持続可能な地域づくり連携事業
 8. モニタリング及び評価手法
- 付属資料 三方五湖自然再生事業実施計画 事業成果と課題
 参考資料1 第2期計画とりまとめ経緯
 参考資料2 「三方五湖自然再生全体構想」(平成24年3月策定)の概要
 参考資料3 三方五湖自然再生協議会規約

ちょっとむかしの暮らし展 三方五湖の漁業へん

若狭地域のむかしの暮らしの道具を展示し、ちょっとむかしの暮らしについて紹介する展示シリーズ“ちょっとむかしの暮らし展”の“三方五湖の漁業へん”が、令和3年12月18日から令和4年3月13日まで、福井県立若狭歴史博物館で開催されました(主催:若狭歴史博物館、共催:福井県里山里海湖研究所、協力:鳥浜漁業組合・cafe縞・(公社)福井県観光連盟・御

食国若狭おばま食文化館)。三方五湖での漁法や漁具、三方五湖の資源利用について紹介されました。また、関連イベントとして伝統漁法「たたき網」体験、「ちょっとむかしの三方五湖弁当」「たたき網鮎バーガー」の販売などがありました。

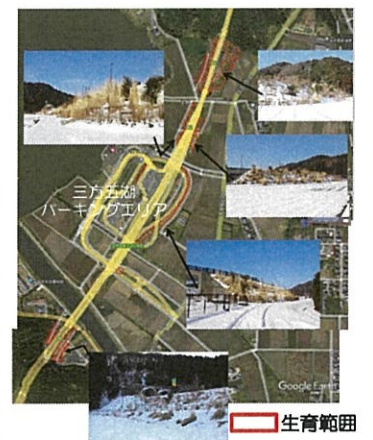


重点対策外来種・ヨシススキが確認されました。

令和3年12月に、鳥浜・生倉地区において、外来種のヨシススキの生育が確認されました。ヨシススキは、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」の「重点対策外来種」に位置づけられ、対策の必要性が高い種です。今後、現在確認されている区域以外への分布拡大状況確認、地域全体での徹底駆除が必要とされます。

【ヨシススキ】

- ・インドから東南アジア等が原産のススキ科の多年草。出穂時の高さは2~5mになる。
- ・日当たりの良い場所を好み、土壌の種類にかかわらず、どこでも生育できる。



上:ヨシススキ分布状況(R4.2.26) 左:生倉での確認状況(R3.12.6)